

第2学年国語科学習指導案

単元名 描写に注意して読もう

教材名 教材1 「走れメロス」(光村図書「国語2」・東京書籍「新しい国語2」)
教材2 「視点を変えて書こう」(光村図書「国語2」)
「ジャンルを変えて書き換えよう」(東京書籍「新しい国語2」)でも代用可能

1 単元について

佐賀県の生徒の実態として、平成19～21年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「読むこと」「書くこと」の領域に課題が見られた。特に「読むこと」では、「文章の展開や表現を手がかりにして登場人物の心情を読み取ること」に課題があって、生徒が文学的な文章の読み取りに苦手意識をもつ一因となっている。また「書くこと」では「相手に読みやすく分かりやすい文章にすること」に課題があり、表現を工夫して書くことができていない現状が分かる。これまでの学習において、生徒は1年生の時に「少年の日の思い出」で構成や展開に注意して読み、登場人物の心情の変化や生き方を読み取ることで主題に迫ることを学んでいる。さらに、2年生では「盆土産」「字のないはがき」で情景や心情の描写をとらえて作品を味わうことを学んでいる。しかし、作品を味わうために、描写をとらえて登場人物の心情の変化を読み取る力の定着にまでは至っていないという現状があると言える。

そこで本単元では、情景や心情の描写をとらえて作品を味わう力を定着させ、描写を手掛かりにして登場人物の心情や生き方を読み取る力を身に付けさせることを目指す。教材1「走れメロス」は漢語表現の多用や単文の積み重ね、誇張的な表現など数多くの仕掛けを含んでいる。教材2である「視点を変えて書こう」で示される、さまざまな角度から物事を見つめ直す文章の書き方の視点を知ることと合わせて単元を構成すれば、その描写から表現の特徴や工夫を読み味わうことができる教材であると考えられる。この2つの教材で単元を構成し、目指す力を身に付けさせたい。

本単元では、文学的な文章を題材として、描写に注目して表現の仕方や登場人物の心情を読み取る力を身に付けさせるため、表現の特徴や工夫について評価し、感想を交流する言語活動を位置付ける。そして、作品の空白部分に気付かせ、その部分を登場人物になりきって書かせる活動を行う。この活動を通して、登場人物の人物像や心情についての読みを深めさせ、作者の表現の特徴や工夫について確認させる。そしてここで身に付けた力は、3年時の「故郷」での表現の特徴を味わい、状況と人間のかかわりについて考える力を身に付ける学習へと発展させる。

本単元に位置付けた言語活動は、詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交換する(第2学年「C読むこと」(2)ア)活動としての「意見交流会」である。ここで作者の表現の特徴や工夫について考えることで描写への意識を高め、登場人物の心情や人物像に迫る力を身に付けることができる。ここでは身に付けた力を確認するため、作品の描写に注目し表現の特徴や工夫に気付く。あらすじをまとめ作品の空白部分に気付く。描写の効果や登場人物の言動の意味を考える。というスモールステップによる学習活動を取り入れる。そして、この学習活動の中で身に付けた力を使って、作者の表現の特徴を利用して、作品の空白部分を想像し、登場人物になりきって創作する活動を行う。そのことが身に付けた知識・技能の定着につながると考える。

2 単元の指導目標

- (1) 描写の効果や登場人物の言動の意味を考えさせ、登場人物の心情を読み取ることができるようにする。
- (2) 文章表現の仕方や登場人物の人物像などについて自分なりの考えをもつことができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 文章の描写から表現の特徴や登場人物の心情を読み取ろうとしている。 【C 読むこと(1)イ】
イ 書く能力	1 意見や心情が相手に効果的に伝わるように描写を工夫して書いている。 【B 書くこと(1)ウ】
ウ 読む能力	1 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読んでいる。 【C 読むこと(1)ア】 2 文章の描写の効果や登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解している。 【C 読むこと(1)イ】 3 文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもっている。 【C 読むこと(1)エ】
エ 言語についての知識・理解・技能	1 相手や目的に応じて文章の形態や文章表現に違いがあることを理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ)】

4 指導と評価の計画(全8時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準
一	1	1 作者に関する情報や資料から、作品に対する興味をもつ。 2 学習目標を設定し、学習計画を立てる。	太宰治について知ることによって、その作品にも興味をもつような資料を提示する。 学習の流れを生徒が把握できるよう配慮する。 難語句や読めない漢字についても確認をしておく。	エ - 1
	2	3 教材1「走れメロス」の全文を通読し、初発の感想をもつ。	教材1を読ませ、初発の感想と人物関係図を書かせる。 表現の仕方や登場人物の人物像について自分の考えがもてるように感想の書かせ方を工夫する。	ウ - 1
二	3	4 物語のあらすじをとらえる。	登場人物の把握、おおまかな場面分けの後、登場人物の言動に注目させて出来事をとらえさせる。	ウ - 2
	4	5 あらすじをまとめ、文章の描写の効果や登場人物の言動の意味を考える。	とらえた出来事を時系列にまとめたワークシートを使ってあらすじを簡単にまとめさせ、物語に書かれていない空	ウ - 2

		白部分があることに気付かせる。	
5	6 描写に着目して、表現の特徴見付け、考えをまとめる。	出来事、登場人物の言動、台詞の描写について見直させる。 特徴を簡潔な言葉でまとめ、それに対する意見を交流させる。	ア - 1 ウ - 2
6	7 教材2「視点を变えて書こう」を読んで、書き換えの方法について知る。 8 「走れメロス」の表現の特徴を利用して、物語の空白部分を想像して書く。	書き換えの視点や方法について簡単にまとめさせ、参考にさせる。 選んだ登場人物の心情を考えたがら物語の空白部分を作者の書きぶりを利用して書くように指示する。	イ - 1 ウ - 3
7	9 「走れメロス」の表現の特徴を利用して、物語の空白部分を想像して書く。(前時の続き) 10 グループで書いた作品を読み合い、相互評価する。	選んだ登場人物の心情を考えたがら物語の空白部分を作者の書きぶりを利用して書くように指示する。 内容と表現の仕方の両面から評価させる。	イ - 1 ウ - 3
三	8 11 書いた作品を基に、意見の交流をする。 12 「走れメロス」の主題について考える。 13 学習のまとめをする。	お互いの作品の主題や表現の工夫を話し合うことで、本編への理解を深めさせる。 意見交流会で出た意見を参考にさせる。 何を学んだかを認識させる。	ウ - 3 ウ - 2

5 - 1 1 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 作者や作品に興味をもたせ、表現の特徴に気付かせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 作者について興味をもつ。		太宰治に関するクイズに答えさせる。	
太宰治の3つの作品を比べて、表現の特徴に気付こう。				
展開	2 太宰治とその作品について知る。	ワークシート	代表作の冒頭部分を読ませ、その表現の特徴について考えさせる。 ・東京八景 ...文末表現が常体で漢語表現が多い。比喻表現。など ・帰去来 ...文末表現に常体と敬体が混在しており、一文の長さが短い。など ・富岳百景 ...一文の長さが長い。比喻表現。など	E - 1 筆者の表現の特徴で、今までに読んできた小説の表現の仕方と違うところに気付いている。 【発言の観察】 【ワークシートの記述】 ・表現の工夫をとらえる視点を先に与えておく。
まとめ	3 単元の学習目標を知り、学習の見通しをもつ。 4 教材1「走れメロス」を黙読し、難語句や読めない漢字、主な登場人物の人柄が分かる表現に印を付ける。	学習計画表 教材1	目的意識をもって読んだり書いたりすること（学習の道筋）を知らせる。 主な登場人物の人柄が分かる表現に気を付けて読むように指示する。	
	5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。 6 自己評価をする。	学習計画表	「走れメロス」の本文を通読することを告げる。	

5 - 2 2 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 「走れメロス」の全文を通読させ，登場人物の人物像や人間関係を読み取らせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表を確認し，本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を見て，授業の流れを確認させる。	
「走れメロス」を読んで，登場人物の人物像や人間関係を読み取ろう。				
展開	2 朗読を聞きながら，あらすじをとらえる。 3 条件に沿って，全文を通読した感想を書く。	教材1CD ワークシート	音声CDなどを使い，登場人物の人物像や場面の変わり目，気になる表現などに気を付けて聞くように指示をしておく。 ワークシート の人物関係図に登場人物の人物像や関係，内容，表現について箇条書きで書くように指示する。 〔内容に関する項目例〕 ・感動したところ ・おもしろいと思ったところ ・疑問に思ったところ 〔表現に関する項目例〕 ・気になる表現 ・よく出てくる表現 ・作者の仕掛けが感じられる表現	ウ - 1 心情を表す語句に注意して読み，登場人物の人物像や関係を読み取っている。 【ワークシート の記述】 ・心情を表す語句にはどんなものがあるか示しておき，文末表現にも注意するよう指示する。
まとめ	4 本時の振り返りをし，次時の見通しをもつ。 5 自己評価をする。	学習計画表	「走れメロス」のあらすじをとらえ，時系列にまとめることを告げる。	

5 - 3 3 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 登場人物の言動に注目させ、「走れメロス」のあらすじをとらえさせる。

(2) 展 開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し、本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れを確認させる。	
登場人物の言動に注目して、「走れメロス」のあらすじをとらえよう。				
展 開	2 教材1「走れメロス」を読んで、全体をいくつかの場面に分ける。 3 主な登場人物を確認する。 4 出来事を時系列でまとめ、あらすじをとらえる。	ワークシート ワークシート	場所や時間の変化を手掛かりにして分けるように指示する。 主な登場人物として、メロス、王、セリヌンティウスの人間関係について確認させる。 ワークシート の空欄に教材文から読み取った登場人物の言動をあてはめさせることで、叙述に即して登場人物の心情に迫らせる。 表現の工夫で時系列になっていない部分もあることに注意させる。 ・ 出来事 ・ 特徴のある情景描写 ・ 特徴のある心情描写	ウ-2 登場人物の言動に注目し、その変化をとらえている。 【話合いや発言の観察】 【ワークシート の記述】 ・ 場面ごとに場所と時間の変化を確認させ、本文に印をつけるよう指示をする。 ・ 本文からそのまま書き抜いてよいことを知らせる。
ま と め	5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。 6 自己評価をする。	学習計画表	本時の続きの作業を行い、あらすじをまとめて、その特徴について考えることを告げる。	

5 - 4 4 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ あらすじをまとめ、文章の描写の効果や登場人物の言動を理解させ、その意味を考えさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表を確認し、本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れを確認させる。	
<p>あらすじをまとめ、文章の描写の効果や登場人物の言動の意味を考えよう。</p>				
展開	2 あらすじをまとめる。	ワークシート	前時にとらえた出来事を簡潔な言葉で時系列にまとめさせる。 主な登場人物の言動、心情が分かる表現にも着目させ、変化が分かる表現についてはワークシートに書き加えさせる。	ウ-2 文章の描写や登場人物の言動をとらえ、内容を理解している。 【ワークシート の記述】 ・まとめ方や書き加え方を示し、作業の様子を見て細かく指示をする。
展開	3 文章の描写の効果や登場人物の言動の意味を考える。	ワークシート	完成したワークシートを基に文章の構成や展開について確認させる。 全体を概観させ、書かれていない空白部分があることに気付かせる。 ・セリヌンティウスについて ・王について	ウ-2 文章の描写の効果や登場人物の言動の意味を考えている。 【ワークシート の記述】 ・目で見ても、その特徴に気付くことができるように、ワークシートの構成を工夫する。
まとめ	4 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。 5 自己評価をする。	学習計画表	描写に着目して表現の特徴について考えることを告げる。	

5 - 5 5 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 描写に着目して表現上の特徴に気付かせ、考えをまとめさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表を確認し、本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れを確認させる。	
描写に着目して表現上の特徴を見付け、考えをまとめよう。				
展開	<p>2 場面ごとに情景や心情の描写に着目して、その特徴を考える。</p> <p>3 グループで意見を交流し、「走れメロス」の表現の特徴をまとめる。</p> <p>4 「走れメロス」の表現の特徴について感想を交流する。</p> <p>5 グループでまとめたものを発表する。</p>	<p>学習プリント 手引き (表現の工夫に強くなる)</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>	<p>個人で気付いたことをワークシートに記入させる。場面ごとに、出来事、登場人物の言動、台詞の書かれ方などを見直して書くよう指示する。</p> <p>学習プリントを参考にして探そう助言する。 〔生徒に気付かせたいこと〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢語表現の多用 ・ 短文の積み重ね ・ 心の中に浮かんだ言葉の利用 ・ 誇張的表現 ・ 文末表現 ・ 過去形と現在形の混在 ・ 比喩表現 など <p>グループで意見を出し合い、表現の特徴を簡潔な言葉でまとめさせる。</p> <p>自分の考えをグループ内で交流させる。</p> <p>他のグループの意見も参考にしていづつかの項目にまとめさせる。(3～5項目程度)</p>	<p>ア - 1 文章の描写から表現の特徴を読み取るようとしている。</p> <p>【話合いの観察】</p> <p>【ワークシートの記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あらかじめ視点を示しておき、場面ごとに指示をする。 <p>ウ - 2 文章の描写の効果について考え、表現の特徴としてまとめている。</p> <p>【ワークシートの記述】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ方の例を示しておき、友達の見聞も参考にしよう助言する。
まとめ	<p>6 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <p>7 自己評価をする。</p>	学習計画表	<p>「走れメロス」の表現の特徴を利用して、作品の空白部分を想像して書くことを告げる。</p>	

5 - 6 6 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 作品の空白部分を想像して書くことで、「走れメロス」の表現の特徴について自分の考えをもたせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表を確認し，本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を見て，授業の流れを確認させる。	
展開	<p>2 教材2「視点を変えて書こう」を読んで，視点を変えて書く方法について知る。</p> <p>3 「走れメロス」の表現の特徴を利用して，作品の空白部分を想像して書く。 (1) 手掛かりとなる記述から中心となる台詞を考える。 (2) 中心となる台詞の間ト書きを考える。 (3) 話の流れとして足りない部分の説明を書き加える。</p>	<p>教材2</p> <p>補助資料 ワークシート</p>	<p>これからの活動の参考にさせるために教材2を読ませる。 視点を変えてさまざまな角度から物事を見る方法について知らせる。</p> <p>空白部分を想像して書きたい手掛かりとなる記述を文章中から探させ，セリヌンティウス又は王の空白の3日間について書くか決めさせる。 手掛かりとなる記述の描写を基に書くように指示する。 空白部分を想像させることで，話の筋立てを考えさせる。</p> <p>【書き表す方法】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台詞 ・ ト書き ・ 説明 </div>	<p>イ - 1 心情や伝えたい内容が効果的に伝わるように作者の描写の特徴を利用して書いている。</p> <p>【ワークシートの記述】 ・ 必ず入れる内容や表現を明示する。</p> <p>ウ - 3 文章に表れている作者のものの見方や考え方，登場人物の生き方について，自分の考えをもっている。</p> <p>【ワークシートの記述】 ・ 作者のものの見方や考え方が分かる部分に印を付けさせ，意識させる。</p>
まとめ	<p>4 本時の振り返りをし，次時の見通しをもつ。</p> <p>5 自己評価をする。</p>	学習計画表	<p>次時は，グループ内で作品を紹介し合い，相互評価をすることを伝え，作品が完成していない生徒は家庭である程度仕上げてくるよう指示する。</p>	

5 - 7 7 / 8 時の指導計画

(1) 指導目標

- 書いた作品を相互評価させ，友達の評価を基に自分のものの見方や考え方を広げさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表を確認し，本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を見て，授業の流れを確認させる。	
友達の作品を読んで，自分の表現に生かそう。				
展開	<p>2 「走れメロス」の表現の特徴を利用して，作品の空白部分を想像して書く。</p> <p>3 「走れメロス」の表現の特徴を利用して書いた作品をグループ内で紹介し合い，相互評価する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>評価表</p>	<p>前時の続きを書かせる。</p> <p>作品が，根拠を踏まえた内容になっているか，表現の特徴を利用して書いているかについて，お互いに評価させる。</p> <p>作者の表現の特徴をまとめたものを評価する際の参考となるよう評価表に挙げておく。</p> <p>グループ内で回し読みをさせ，友達の作品のよいところやアドバイスなどを評価表に記入させる。</p> <p>グループ全員分の作品を読み，友達の評価表に記入を終えたら，各自，自分の作品と評価表を確認するよう指示する。</p> <p>加筆修正する際は，評価表に記述された友達からのアドバイスを生かすように助言する。</p>	<p>イ - 1 心情や伝えたい内容が効果的に伝わるように描写が工夫されているか判断できている。</p> <p>【話合いの観察】</p> <p>【評価表の記述】</p> <p>・評価の観点をしぼり，具体的に示す。</p> <p>・友達の意見を参考にしよう指示する。</p> <p>ウ - 3 友達の作品に表れているものの見方や考え方について自分なりの感想をもっている。</p> <p>【話合いの観察】</p> <p>【評価表の記述】</p> <p>・感想でよいから必ずコメントを書くよう指示する。</p>
まとめ	<p>5 本時の振り返りをし，次時の見通しをもつ。</p> <p>6 自己評価をする。</p>	学習計画表	次時は，作品についての意見を交流させ「走れメロス」の主題に迫っていくことを知らせる。	

5 - 8 8 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 「走れメロス」意見交流会を通して、すぐれた描写や登場人物の心情について考えさせ、主題をとらえさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 学習計画表を確認し、本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を見て、授業の流れを確認させる。	
「走れメロス」意見交流会をして、主題をとらえよう。				
展開	<p>2 自分の作品についての考えをまとめ、意見交流会の準備をする。</p> <p>3 意見の交流をする。 (1)作品を読み合う。 (2)相手の作品について話し合う。</p> <div data-bbox="236 1200 616 1375" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>質問1 使っている言葉や表現で分からなかったこと。 質問2 なぜ、こういう場面や台詞にしたのか。 質問3 走れメロスの表現の工夫を取り入れたのはどこか。そして、それはどんな工夫か。</p> </div> <p>4 グループで出た意見を全体で交流する。</p> <p>5 「走れメロス」の主題について考える。</p>	ワークシート	<p>ワークシート の質問1～3について自分の考えをまとめるよう指示する。 事前に、セリヌンティウスの立場で作品を書いているか、王の立場で書いているかを調べておき、同じ登場人物で書いている生徒で4、5人のグループを構成しておく。</p> <p>意見を交流させる際、ワークシート の質問を話し合いの視点とする。</p> <p>王とセリヌンティウスの両方の立場の意見を知り、それらとメロスの心情を比較させることで作品の主題をとらえさせる。</p> <p>意見交流で出た意見を参考にして、「走れメロス」の主題とすぐれた描写について自分の考えをまとめさせる。</p>	<p>ウ - 3 文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えをもっている。 【作品の分析】 【発言の観察】 ・感想でよいので自分が気付いたことを進んで発言するよう促す。</p> <p>ウ - 2 登場人物の役割を基に、作品の主題をとらえている。 【ワークシート の記述】 ・あらすじと空白部分の作品から分かる3人の心情に着目させる。</p>
まとめ	6 本時の振り返りをし、本単元で学んだことを再確認する。 7 自己評価をする。	学習計画表	他の文学作品についても、描写に注目し、表現の特徴や工夫を手掛かりにして読む方法があることを知らせる。	